

# ESDは公教育をどう変えたのか

Education for Sustainable Development

未来の学びと持続可能な開発・発展研究会

東京都市大学

伊藤 通子

※ 誰にも見やすく開発されたユニバーサル・フォント(UD)を使用しています。

1. ESDとは・・・
2. ESDの歴史
3. あらためて、ESDとは？
4. 学校のESDと生涯にわたるESD
5. It's time for change

持続可能な開発のための教育（ESD）とは、  
持続可能性の根底にある理念と原則に基づいた  
学びのプロセス（または教えのアプローチ）であり  
あらゆるレベルとタイプの学習者に関係します。

DESD monitoring and evaluation guidelines. (UNESCO, 2009)

- 視点1 教育プログラムとして
- 視点2 制度的視点
- 視点3 生涯にわたる学びの視点
- 視点4 開発の視点
- 視点5 学際的な視点
- 視点6 教育学的視点

1980年	国連環境計画 (UNEP)・国際自然保護連合 (IUCN)・世界自然保護基金 (WWF) が提出した「世界自然保全戦略」で、「 <b>持続可能な開発</b> 」の概念が示される。
1987年	環境と開発に関する国際連合会議で、議長を務めたグロ・ハーレム・ブルントラント氏によって「持続可能な開発 (Sustainable development)」という表現が用いられ、この概念が広く理解される。
1992年	地球サミット (国連環境開発会議) で「持続可能な開発」の実現に向けた話し合いがもたれ、成果文書の一つである国際的行動指針「 <b>アジェンダ21</b> 」に <b>教育の重要性が明記</b> される。
2002年	持続可能な開発に関する世界首脳会議 (ヨハネスブルグサミット) で日本政府およびNGOが「 <b>持続可能な開発のための教育 (ESD)</b> 」を提唱した。
2002年12月	第57回国連総会本会議で、2005年から2014年までの10年間に「国連持続可能な開発のための教育の10年 (UNDESD、国連ESDの10年)」とする <b>決議案が採択</b> される。ユネスコがESDの主導機関に指名される。
2005年3月	国連本部 (ニューヨーク) にて「 <b>持続可能な開発のための教育の10年</b> 」 <b>開始記念式典</b> が開催される。
2006年3月	日本の国内実施計画の策定。(2011年6月、2016年3月に改訂)
2008年3月	2008年3月幼稚園教育要領及び小学校・中学校、2009年3月には高校の学習指導要領が公示され、 <b>新しい学習指導要領には、持続可能な社会の構築の観点</b> が盛り込まれた。教育基本法と新学習指導要領に基づき、ESDの考え方に沿った教育が実施可能となる。
2009年3月～4月	ドイツのボンにおいて、「持続可能な開発のための教育 (ESD) 世界会議」が開催され、「ボン宣言」が採択される。
2013年11月	第37回ユネスコ総会において、「国連持続可能な開発のための教育の10年」(2005～2014年)の <b>後継プログラムとして「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム (GAP)」が採択</b> される。
2014年11月	岡山県岡山市で、「持続可能な開発のための教育 (ESD) に関するユネスコ会議」のうちステークホルダーの主たる会合が開催される。
2014年11月	愛知県名古屋市で、「持続可能な開発のための教育 (ESD) に関するユネスコ会議」のうち閣僚級会合及び全体のとりまとめ会合、フォローアップ会合が開催される。
2015年～2019年	「持続可能な開発のための教育 (ESD) に関するグローバル・アクション・プログラム」が実施される。
2019年11月	第40回ユネスコ総会において「ESD for 2030」枠組みが採択される。
2019年12月	第74回国連総会において「 <b>ESD for 2030</b> 」 <b>決議が採択</b> される。
2020年4月	「持続可能な社会の創り手の育成」が明記された <b>新学習指導要領 (2017年告示) の本格実施</b> が始まる。
2020年	ポストGAPの枠組みが策定・採択される。
2020年	「持続可能な開発のための教育:SDGs達成に向けて (ESD for 2030)」国内実施計画 (期間:2020年～2030年) が策定される。

…つまり、  
ESDは持続可能な社会の創り手を育む教育



ESD for 2030 => ロードマップ

## 5つの優先行動分野

1. 政策の推進
2. 学習環境の変革
3. 教育者の能力構築
4. ユースのエンパワーメントと動員
5. 地域レベルでの活動の促進

ESDはSDGs17の全ての目標実現の鍵



## 6つの重点実施領域

1. 国レベルでのESD for 2030の実施 (Country Initiativeの設定)
2. パートナーシップとコラボレーション
3. 行動を促すための普及活動
4. 新たな課題や傾向の追跡 (エビデンスベースでの進捗レビュー)
5. 資源の活用
6. 進捗モニタリング) が提示

(1) 持続可能な社会づくりを構成する  
「6つの視点」を軸にして、教員・生徒が  
持続可能な社会づくりに関わる課題を見出す

### 持続可能な社会づくりの構成概念

1. 多様性(いろいろある)
2. 相互性(関わりあっている)
3. 有限性(限りがある)
4. 公平性(一人一人大切に)
5. 連携性(力合わせて)
6. 責任制(責任を持って)

(2) 持続可能な社会づくりのための  
課題解決に必要な「7つの能力・態度」

### ESDの視点に立った学習指導で 重視する能力・態度

1. 批判的に考える力
2. 未来像を予測して計画を立てる力
3. 多面的・総合的に考える力
4. コミュニケーションを行う力
5. 他者と協力する力
6. つながりを尊重する態度
7. 進んで参加する態度

## ○どのように学ぶのか

「主体的・対話的で深い学び」の視点から、不断の学習・指導方法を改善することが重要です。問題解決的な学習を適切に位置付けるなど、探究的な学習過程を重視し、学習者を中心とした主体的な学びの機会を充実し、体験や活動を取り入れるだけでなく、学習過程のどの部分にどのように位置付けたら効果的かを十分に吟味します。グループ活動を取り入れ、話し合い、協力して調査やまとめ、発表を行い、協同的な学びとします。

## ○何ができるようになるのか

知識・理解に留まらず、学びを活かし、様々な問題を「自分の問題」として行動する「実践する力の育成」・・・を目指します。また、「持続可能な社会の構築」という観点を意識することにより、児童・生徒の価値観の変容を引き出すことができます。

## ○どのように取り組むのか

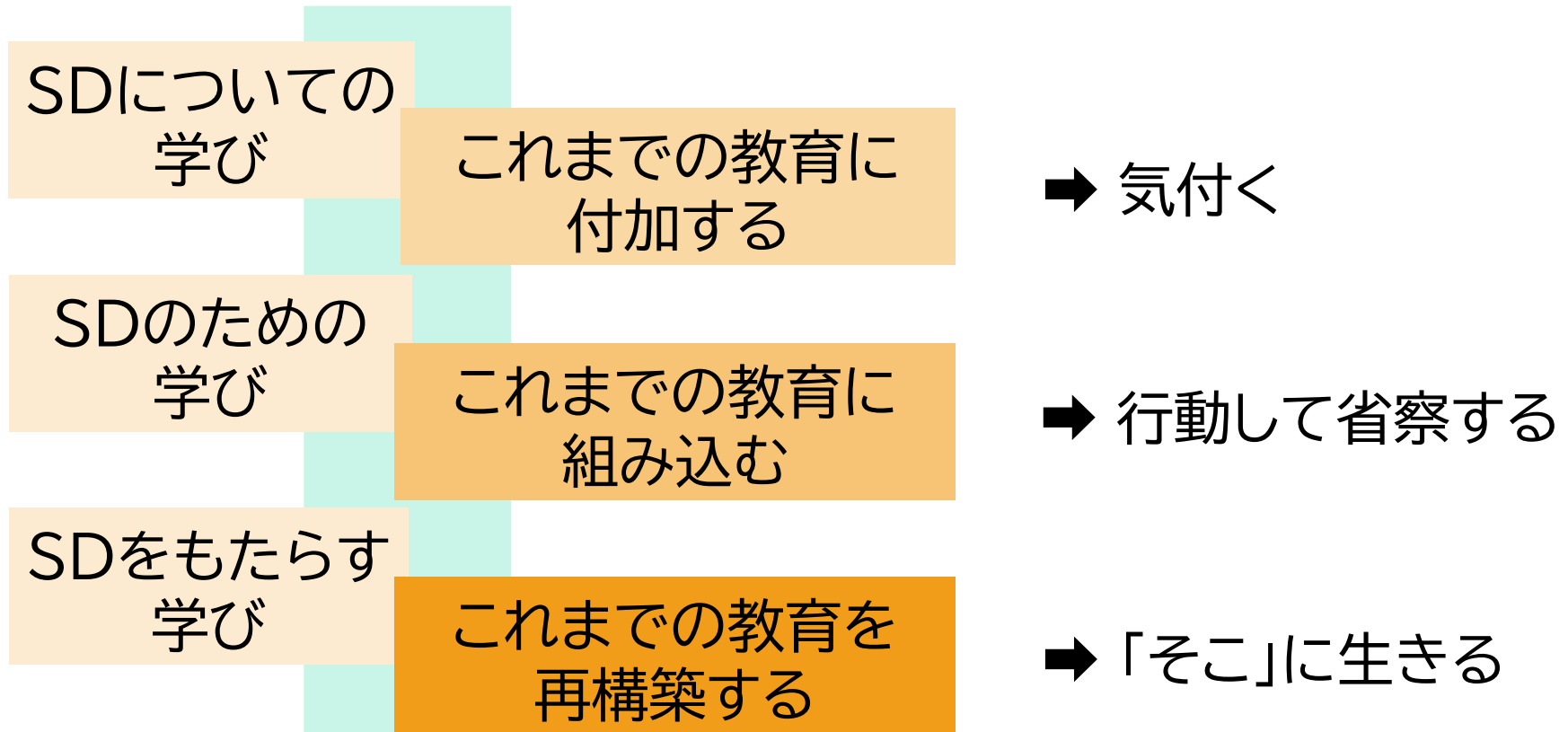
ESDを効果的に推進するためには、ESDの実施を学校経営方針に位置付け、校内組織を整備して学校全体として組織的に取り組むこと、ESDを適切に指導計画に位置付けること、地域や大学・企業との連携の視点を取り入れること、児童・生徒による発信と学習成果の振り返りを適切に行うことなどが重要です。

当たり前のことばかりじゃん

何をやってもESD !?



# SDと学びの関係 & 教えの方策 & その目的



学び・教えのパラダイムシフト

(Sterling 2002 から引用して加工)

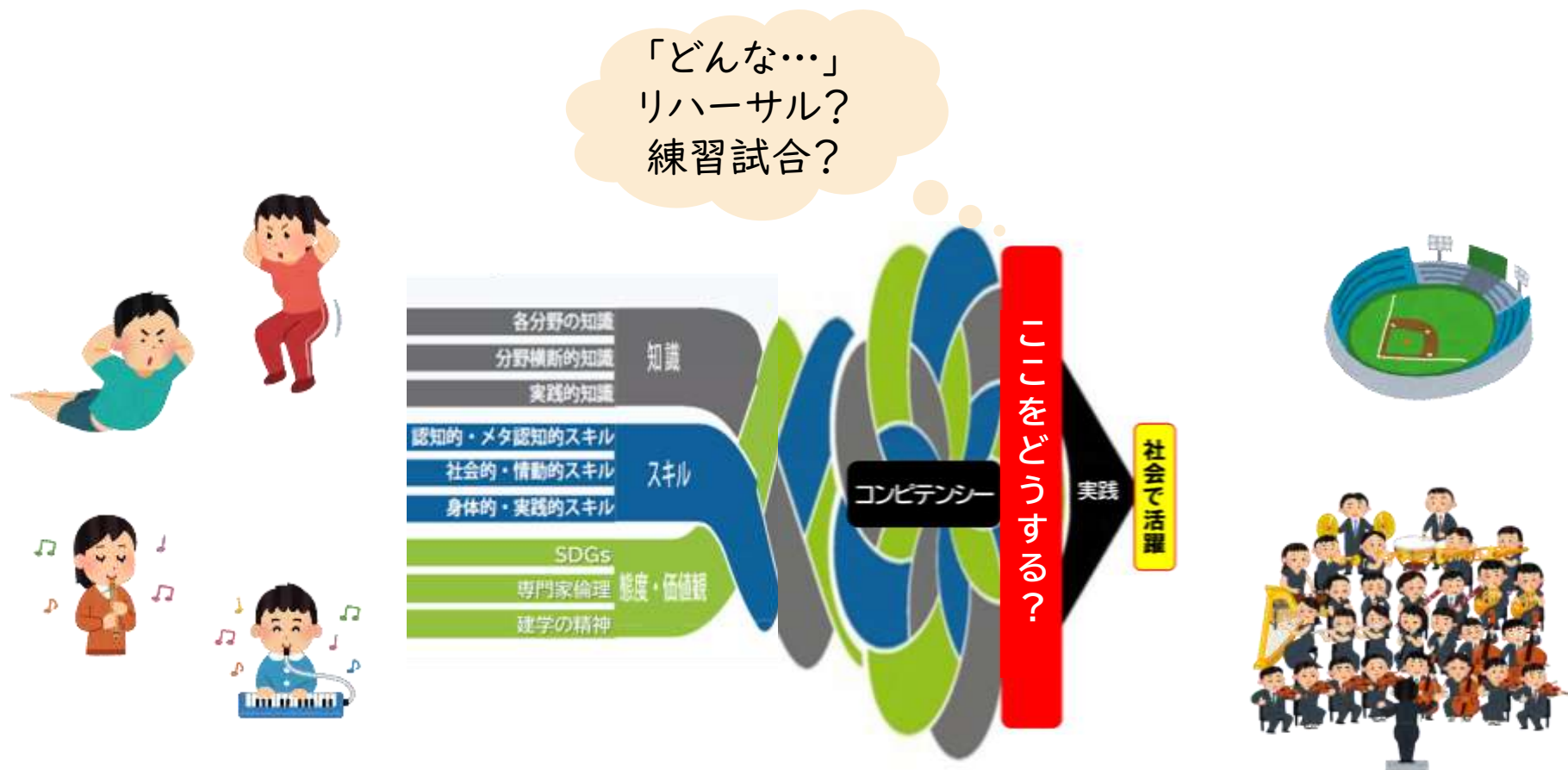


# 学校のこんなESDいつまで続ける？

	学校のエセESD		生涯にわたるESD
目的	受験合格(学校、就職、昇格…)	勝手にどうぞ！ 学校は関係ありません	「そこ」で生きる
手段	一人で勉強		生業でのイノベーション
学びの核	内容		状況
能力	本質主義的		社会文化的 (関係性的)
重要なこと	試験で得点		知識・スキル・態度を統合して 発揮すること
評価	先生に評価される		自分で省察
カリキュラム	バラバラな科目の羅列		他分野が一かたまりで必要
問題とは	誰かが困っている		自分が真っ只中にいる
学びの責任	教える人・学校		責任も権限も学習者

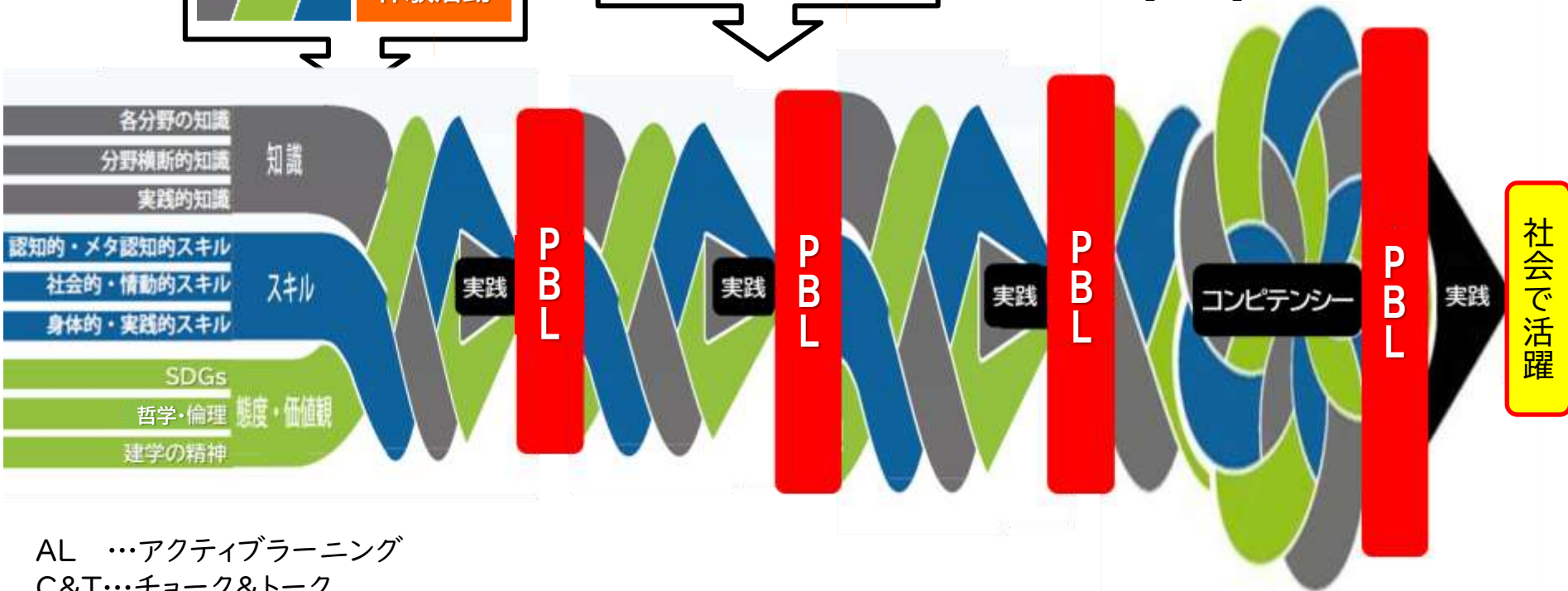
公教育の役割では？

# カリキュラムにおけるESDの位置づけ



これまでの教育に組み込むだけの  
一科目、〇〇教育ではない!

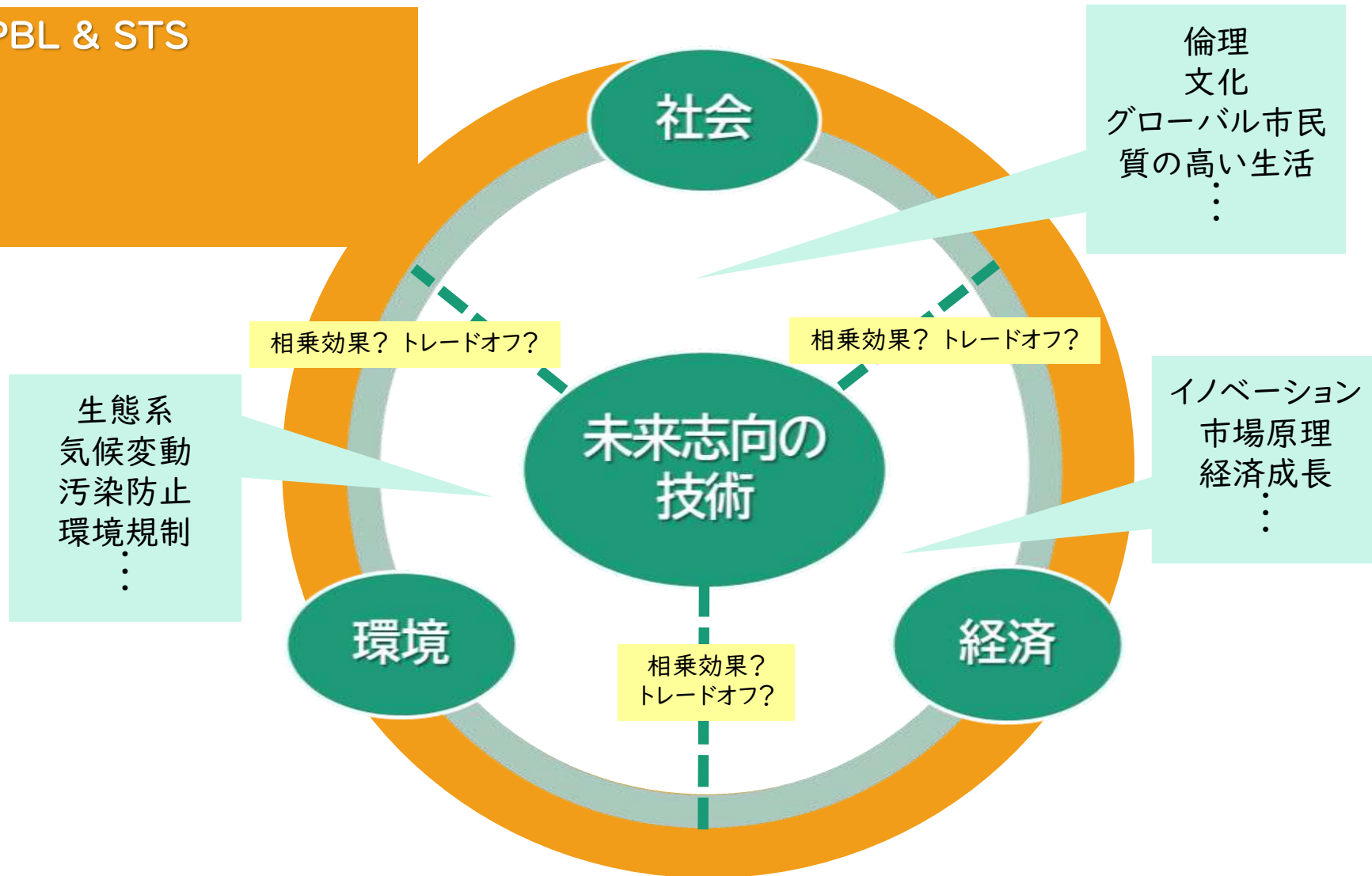
# 統合的アプローチ



AL …アクティブラーニング  
 C&T…チョーク&トーク  
 S&T…スライド&トーク

# 今の私の答え…工学教育の立場から

PBL & STS



# SDをもたらす学び

## これまでの工学教育を再構築するとは？

Ruth Graham (2018)  
The global state of the art in  
engineering education, MIT

- 学問の体系的修得を目的とした伝統的なカリキュラムが、イノベーション人材輩出の抑制要因
- 21世紀のテーマである「環境的、社会的、技術的課題を総合的に扱う新しいカリキュラム構成」と、「学生中心の教育方略」とが統合された一貫的教育プログラムの必要性

イノベーション人材

…社会変革を担う人（望ましい状況へと変える人）

総合的に扱う新しいカリキュラム構成

…バラバラな科目を、大人の都合で並べただけではない

一貫的教育プログラム

…学ぶ方法とカリキュラムがピッタリ合っている

# 卒業生の活躍に勇気をもらう

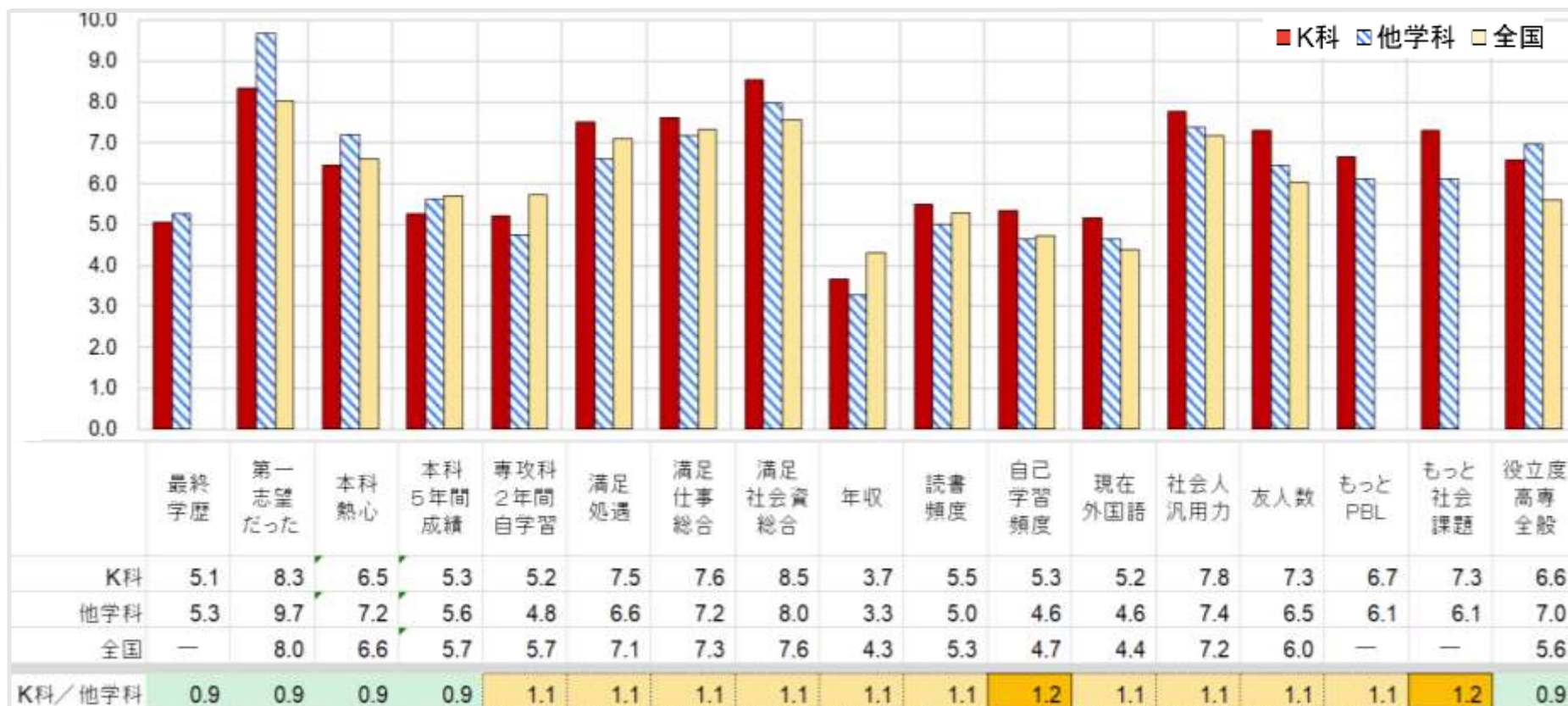


図5-18 現在の社会人汎用力などPBLプログラムの目標項目と、各種の特性比較

【他学科】 伊藤先生にやっていただいたPBL問題解決の授業。あれはちょっと批判的だったと思うんですけども、結局、社会に出てやらなきゃいけないことってああいふことなので、その取っ掛かりというか、その方法論みたいなところを。最初に概要を、実際の現場に行き行ってやらせていただくというのは記憶に残ってますね。

たしかね、問題を設定されてなかったと思うんですね。現場に行き行って見つけるところからの学習だったと思ってて。で、今って、問題を見つけるのってすごく難しい。

問題解決なんてはっきり言って もうレッドオーシャンなんですよ。方法論なんていくらでもありますし、フレームワークなんていくらでも出回ってるのでみんなたどり着く先の答えって一緒なんですよ。で、いかに問題を発見してそれを設定してストーリーを作るかが求められている時代なので。やっぱり結局、自分の頭でどれだけ考えられるかなんでしょね。 そういう観点でやっぱりPBLって、よかったんじゃないかな、問題を見つけるところからやれたのが良かったんじゃないかな。

【K科】 最近も僕,今ちょうど一個山を乗り越えたという仕事で,ゼロから1を作るのはできないと.ほとんどの人ができない.ゼロから0.1でもまず作れる.それは強みだよねと先輩から言われたのが大きい.

1を求めちゃいけない.0.1ができればいいと.

そうしたら,あとはみんな協力してくれる.

0.1を100にできる人たちはいっぱいいるんですけども,ゼロからはできない.0.1を100にするには,自分だけじゃ無理だということも自分で分かっているので,だから,あとは人の力を借りる.

【K科】 今SDGsをやっているので,(関心ある社会問題が)めちゃくちゃある.<中略> SDGsって,平たくいろいろと考えていけば,これって,基本的に全員やらなきゃいけないんですね.<中略>

自分の勉強にもなるし,SDGsをやるということはほとんど会社を勉強することになるので.<中略> なので,言ってしまうと,SDGsって,問題イコールニーズなわけです.<中略>

それがおもしろくてやっているということですね.SDGsという過程の中でビジネスモデルが上がってくるので,それがおもしろい.



# 学校教育だけが変わらない

## 実は…皆、気がついている

- いつか役立つ(と誰かが決めた)  
知識を覚えるだけで、本当に知識が身についている？  
… 試験では役に立ったけど、使わないから忘れてしまう
- 皆に同じように教えれば、同じようにできる？  
… なんてことを、誰が信じるのか、私には私のやり方がある
- バラバラに学んだって、使えない  
… 自分で更新できて、つながりのある多様な引き出しが必要
- やる気が出ないことに時間と労力をかけたくない
- ググれば、欲しい最新情報は手に入る  
… もっと、ど真ん中を儉約的に学びたい



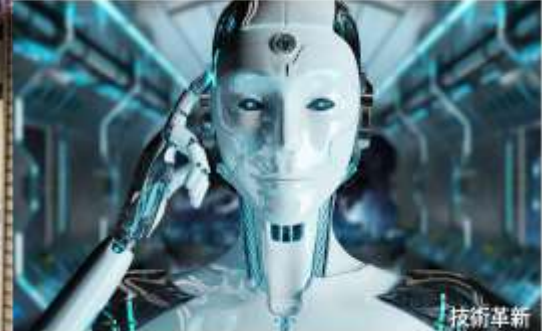
異常気象や自然災害など環境リスク



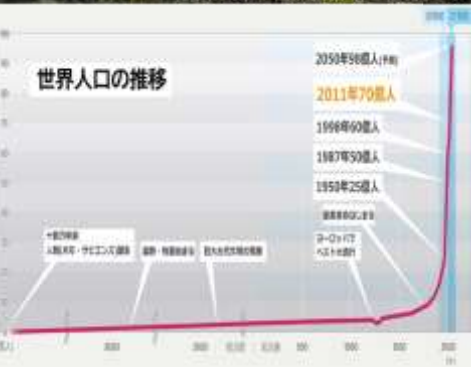
不確実と様々な分断



地方の衰退



技術革新

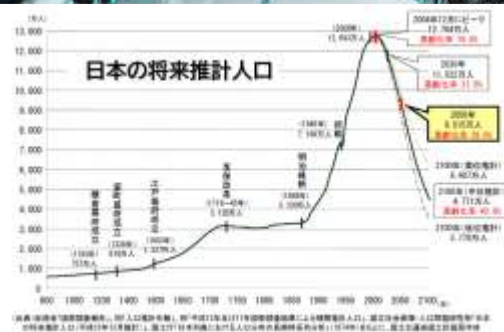


**V**olatility(激動)

**U**ncertainty(不確実性)

**C**omplexity(複雑性)

**A**mbiguity(不透明性)



唯一の正解がない時代

新しいコト・モノ・ヒトの時代

教育・学びこそ

**It's time for change**

今、ここから  
あなたから

具体的な方法論は  
またの機会に・・・

# SDGs時代の学び方

一人ひとりが地図と羅針盤を手にして  
波乗り型で未踏の地をめざす学びを！

17

パートナーシップで  
目標を達成しよう

